

## ON THE KEYBOARD

No. 5

By Sanjeev Sinha

For Personal Use



サンジーヴ・シンハ

1973年インド・ラジャスターン州生まれ。インド工科大学で物理学修士課程と金融の修士課程を修了。人工知能研究のため1996年来日。証券会社の数社に勤務後、現在、プライスウォーターハウスクーパース株式会社ディレクターとして、日本とインドのビジネスの橋渡しに従事。英・日・ヒンディー語を駆使して、様々な異文化交流に尽力している。主な著書に「すごいインドーなぜグローバル人材が輩出するのか」(新潮新書)がある。

## Matsuri in Ginza helps foreign resident mingle warmly with locals

I live close to Tokyo's center of luxury: Ginza. I chose the place mainly because of its **proximity** to my office, but I didn't expect much **interaction** with the neighbors at first.

However, **contrary to** the businesslike image of my area, there is a traditional festival which helps me develop friendships with the local people.

Two years ago, on my way home, I was invited by a group of organizers of the Teppozu Inari

Shrine Festival to join them. The highlight of the event is a parade carrying a **mikoshi** portable shrine on a tour around the Ginza shopping area and the Kabuki-za theater.

I attended the meeting where they discussed the **upcoming** annual event. Though ages varied, they were drinking, eating and joking about life in a **down-to-earth** style.

Some spoke English, but my Japanese-language skills **came in**

**handy**. I was warmly welcomed with offers of food and drink. They were happy to hear that I liked Japanese sake and shochu, and they shared their varied knowledge of India with me.

On festival day, with the sounds of drums booming from early morning, I joined in carrying the mikoshi, shouting, "wasshoi-wasshoi." It was quite an experience to **give a boost** to a parade with people from many **different walks of life**.

I live near Ginza, but I can still enjoy the warmth like that of my hometown in India.



## 紙面から音声

このコーナーは、スマホやタブレットで英文音声を読みます。無料アプリ「朝日コネクト」をインストール。起動したら、日付選択で発行日(11月1日)に合わせ、英文の先頭にかざしてください。ダブルタップで全画面表示。詳細は <http://t.asahi.com/connect> へ。



App Store

からダウンロード



Google play

で手に入れよう

朝日ウィークリーのウェブサイト (<http://www.asahi.com/english/weekly>) でも、音声ファイルを公開しています。

## mingle

(見出しから) 人と話をする、交わる

## proximity

近いこと

## interaction

交流、相互作用

## contrary to

～に反して

## upcoming

来たる、もうすぐ起

## きる

## down-to-earth

地に足が着いた、堅実な、分別のある

## came(come) in handy

役立った、重宝した

## give a boost

後押しする、盛り上

## げる

## different...life

さまざまな分野、社会的集団

対訳

## 祭りが地域の交流を深めます

私は、東京のぜいたくの中心地、銀座のそばで暮らしています。職場に近いということが、そこを選んだ主な理由ですが、当初は近所の人との交流はあまりないだろうと思っていました。

ところが、周辺のビジネス色の濃いイメージに反し、そこでは伝統的な祭りが行われ、それを通じて私は、地元の人たちと友情を育むことができます。

2年前の帰宅途中、私は鉄砲洲稲荷神社の祭りを主催する人たちに、一緒にやらないかと誘われました。祭りのハイライトは、みこしをかついで、銀座のショッピング街と歌舞伎座周辺を巡行することです。

私は、まもなく開催される恒例行事について、話し合う集まりに参加しました。年齢はさまざまでしたが、彼らは落ち着いた雰囲気の中で、飲み、食べ、人生について

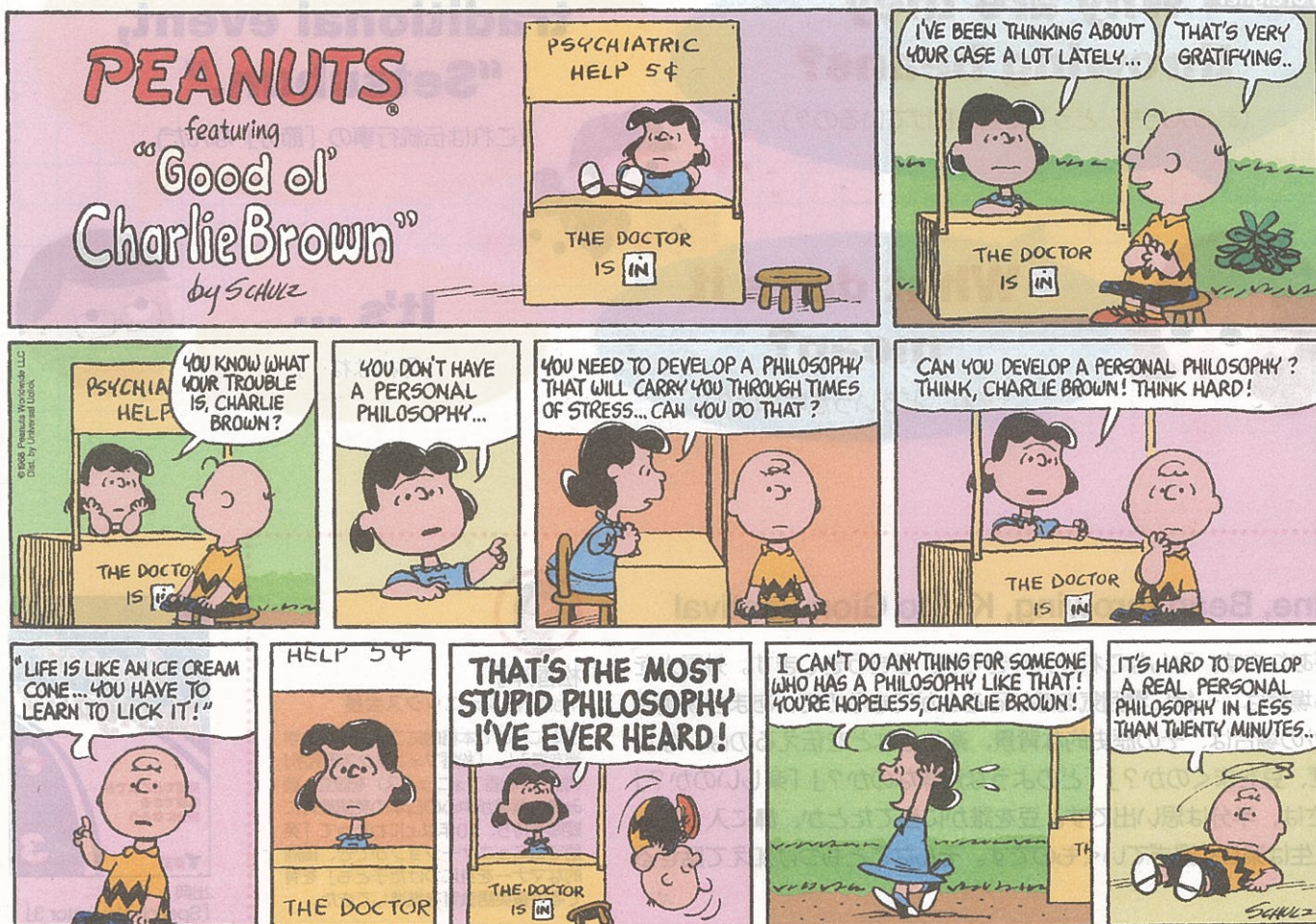
冗談を言っていました。

英語を話す人もいましたが、私の日本語力が役に立ちました。私は食べ物や飲み物をすすめられ、温かく迎えられました。彼らは私が日本酒と焼酎が好きだと言うと喜び、インドについて知っている、いろいろな知識を共有してくれました。

早朝から太鼓の音が響く祭りの日、私はみこしをかつぎながら「わっしょい、わっしょい」と叫びました。さまざまなバックグラウンドの人たちと巡行を盛り上げるというのは、本当に素晴らしい経験でした。

私は銀座のそばに住んでいますが、それでもインドの故郷の町で感じるような温かさにひたることができます。

(訳 井手子)



## 人生哲学

[左コマから右へ]

- 1 お悩み相談室 5セント 担当医「在室中」
- 2 最近アンタの悩みごとについて、ずっと考えてたんだけど...それはすごくありがたいな...
- 3 何がアンタの問題なのかわかる、チャーリー・ブラウン?
- 4 アンタには、自分の哲学というものがないのよ...
- 5 いい、人生の哲学を持つ必要があるの。ツライことがあっても、乗り越えられるような...できる?
- 6 自分の哲学を見つけられる? 考えて、チャーリー・ブラウン! 真剣に考えるのよ!
- 7 「人生は、アイスクリームのようなものである...ナメてかかることを学ばなきゃならない!」
- 8 ...
- 9 そんなバカげた哲学、今まで聞いたこともないわ!
- 10 そんなどうしようもない哲学を語るヤツには、できることなんてないから! アンタは救いようがないわ、チャーリー・ブラウン!
- 11 20分もない中で、真の人生哲学を生み出すのはキビシイよ...

(訳:タ)